

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 5 部門第 1 区分

【発行日】平成 26 年 11 月 27 日 (2014.11.27)

【公開番号】特開 2012-92829 (P2012-92829A)

【公開日】平成 24 年 5 月 17 日 (2012.5.17)

【年通号数】公開・登録公報 2012-019

【出願番号】特願 2011-226311 (P2011-226311)

【国際特許分類】

F 0 1 D 25/24 (2006.01)

F 0 1 D 11/00 (2006.01)

F 0 1 D 25/00 (2006.01)

【F I】

F 0 1 D 25/24 P

F 0 1 D 11/00

F 0 1 D 25/00 M

【手続補正書】

【提出日】平成 26 年 10 月 10 日 (2014.10.10)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

シール装置 (20) であって、当該シール装置 (20) が、

細長い本体 (31, 41) を各々含んでいる第 1 及び第 2 の隣接するシールセグメント (30, 40) であって、細長い本体 (31, 41) の両端部に画成された端部 (32, 33, 42, 43) が、第 1 のシールセグメントの端部と第 2 のシールセグメントの相補的な端部とが接合するように構成されている、第 1 及び第 2 の隣接するシールセグメント (30, 40) を

少なくとも備えており、

第 1 のシールセグメントの端部が、第 1 のシール表面 (61) の平面から突出する第 1 の雄部品 (60) を含んでいて、第 1 の雄部品 (60) の周囲に第 1 の雌対合部 (62) を画成しており、

第 2 のシールセグメントの端部が、第 2 のシール表面 (71) の平面から突出する第 2 の雄部品 (70) を含んでいて、第 2 の雄部品 (70) の周囲に第 2 の雌対合部 (72) を画成しており、

第 1 及び第 2 の雄部品 (60, 70) がそれぞれ第 2 及び第 1 の雌対合部 (72, 62) に嵌め込むことができ、少なくとも 2 方向に第 1 及び第 2 の雄部品重なり部 (80, 90) を形成するとともに各々相補的に反転した構成で 3 つの突起部分 (110, 120) を備えており、

第 1 の雄部品 (60) の 3 つの突起部分 (110) が、第 1 の中央突起 (111) と、第 1 の中央突起の幅 (W2) よりも狭い幅 (W1) で互いに分離された第 1 の側部突起 (112) であって第 1 の中央突起の表面 (113) と接触して配置された第 1 の側部突起 (112) とを含んでおり、

第 2 の雄部品 (70) の 3 つの突起部分 (120) が、第 1 の側部突起 (112) の間に受け入れられて第 1 の中央突起の表面 (113) と接触する第 2 の中央突起 (121) と、第 2 の中央突起の幅 (W4) よりも広い幅 (W3) で互いに分離された第 2 の側部突

起（１２２）であって、第２の側部突起（１２２）のそれぞれの表面（１２３）と接触するように第１の中央突起（１１１）を受け入れる空間を画成する第２の側部突起（１２２）とを含んでいる、シール装置（２０）。

【請求項２】

少なくとも第１及び第２のシールセグメントが、タービンの静止部品間に配設するための環状シール（５０）を形成するように配置される、請求項１記載のシール装置（２０）。

【請求項３】

前記タービンが蒸気タービンを含んでおり、前記環状シール（５０）が蒸気漏洩流を制限する、請求項２記載のシール装置（２０）。

【請求項４】

前記静止部品が任意の２つの静止部品を備える、請求項２記載のシール装置（２０）。

【請求項５】

少なくとも第１及び第２のシールセグメント（３０，４０）が４以上のシールセグメントを含む、請求項２乃至請求項４のいずれか１項記載のシール装置（２０）。

【請求項６】

少なくとも第１及び第２のシールセグメント（３０，４０）が金属材料又は金属合金材料から形成される、請求項１乃至請求項５のいずれか１項記載のシール装置（２０）。

【請求項７】

第１及び第２の雄部品重なり部（８０，９０）が、少なくとも第１及び第２のシールセグメント（３０，４０）が熱膨張する間、維持される十分な長さを各々有する、請求項１乃至請求項６のいずれか１項記載のシール装置（２０）。

【請求項８】

少なくとも第１及び第２のシールセグメント（３０，４０）のそれぞれの断面が、ハブ（１００）と、前記少なくとも２方向のうちの１方向に前記ハブから延在するフランジ（１０１）と、前記少なくとも２方向の別の１方向に前記ハブから延在するシール歯（１０２）とを備える、請求項１乃至請求項７のいずれか１項記載のシール装置（２０）。

【請求項９】

１以上の第１及び第２の雄部品（３０，４０）の３つの突起部分（１１０，１２０）がシールを備える、請求項１乃至請求項８のいずれか１項記載のシール装置（２０）。